

問1 ロシアのシベリアなど、一年中凍りついたままの地層が広がる地域において、住宅などの建物を地面から離して建てる「高床式」の工夫が見られる理由として、最も適切な説明はどれですか。（2021年 沖縄県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. シベリアに生息するトラやオオカミなどの野生動物が、建物の中に侵入するのを防ぐため。 | 2. 建物の内部からの熱が地中の永久凍土を溶かすのを防ぎ、地盤がゆるんで建物が傾かないようにするため。 | 3. 冬の間に降り積もった大量の雪が、建物の出入り口を塞いでしまわないように高さを確保するため。 | 4. 夏場の湿気が床下にこもるのを防ぎ、建物の土台となる木材が腐食して倒壊するのを避けるため。 |
|--|---|--|---|

問2 イスラム教を信仰する人々が多く暮らす地域において、宗教上の教えが日常生活や文化に与えている影響について説明した文として正しいものを次から選びなさい。（2021年 香川県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------------------------------------|---|--|-----------------------------------|
| 1. 牛を神聖な動物として崇めているため、牛肉を食べることを禁じている。 | 2. クリスマスを最大の宗教行事として祝い、その期間は一切の労働が禁じられる。 | 3. 特定の方向を向いて礼拝する習慣はなく、静かな場所で瞑想を行うことが重視される。 | 4. 教義によって不浄なものとされて豚肉を食べることを避けている。 |
|--------------------------------------|---|--|-----------------------------------|

問3 北緯30度、西経90度付近に位置するアメリカ合衆国南部の地点と、日本列島周辺の地点に共通して見られる気候帯の名称として、適切なものを選択してください。（2016年 岡山県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------|-------|-------|-------|
| 1. 乾燥帯 | 2. 寒帯 | 3. 熱帯 | 4. 温帯 |
|--------|-------|-------|-------|

問4 小麦の生産地域が、米などの他の主要穀物と比較して世界各地に広く分散しており、南アメリカやアフリカなどの州でも一定の生産割合を持っている理由として、最も適切なものはどれですか。（2019年 秋田県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 小麦は栽培に莫大な化学肥料を必要とするため、先進国が多い北米やヨーロッパ以外の地域では生産が困難だから。 | 2. 小麦は多雨で湿潤な環境を好むため、熱帯雨林が広がるアフリカや南アメリカの低地が栽培に適しているから。 | 3. 小麦は米に比べて乾燥や低温に対する適応力が高く、多様な気候帯での栽培が可能だから。 | 4. 小麦はアジア以外の地域では主食として利用されないため、南アメリカやアフリカでの生産は家畜の飼料用に限られているから。 |
|---|---|--|---|

問5 南半球に位置するアルゼンチンのブエノスアイレスなどの都市において、気温の変化に見られる特徴として正しいものはどれですか。（2022年 茨城県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 日本などの北半球の国々と同様に、7月前後に気温が最も高くなり、1月前後に最も低くなる。 | 2. 北半球とは季節が逆転するため、1月前後に気温が最も高くなり、7月前後に最も低くなる。 | 3. 赤道に近い低緯度地域であるため、一年を通じて気温の変化がほとんど見られない。 | 4. 地軸の傾きによる影響を受けないため、4月と10月の二回、気温のピークが訪れる。 |
|--|---|---|--|

問6 世界の水資源の利用と経済の関連について、各地域の統計的な特徴を説明したものとして正しいものはどれですか。（2026年 大阪府公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 1人当たりの国内総生産と取水量は密接に関連しており、北アメリカは両方の数値において世界で最大となっている。 | 2. アジアは急速な工業化の影響により、他のどの地域と比較しても生活用への取水割合が最も大きくなっている。 | 3. 工業用の取水量は、その地域の経済規模とは関係がなく、乾燥した気候であるかどうかといった自然環境によってのみ決定される。 | 4. アフリカは1人当たりの国内総生産こそ最小であるが、広大な農地を潤すために1人当たりの取水量は世界で最大である。 |
|--|---|--|--|

問7 世界の諸地域の気候について、南半球の温帯に位置する都市の雨温図に見られる、気温の折れ線グラフの大きな特徴として正しいものはどれですか。（2022年 山形県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 赤道に近いため、1年を通じて気温の変化がほとんどなく、折れ線がほぼ水平に近い形を示す。 | 2. 1年の中で7月ごろに気温が最も低くなり、1月や12月の気温が高くなるV字型の変化を示す。 | 3. 1年を通じて気温が氷点下を下回ることが多く、月ごとの気温変化が極めて激しい形を示す。 | 4. 1年の中で7月ごろに気温が最も高くなり、1月や12月の気温が低くなる山型の変化を示す。 |
|--|---|---|--|

問8 サトウキビやトウモロコシなどを原料とするバイオ燃料は、燃焼させると二酸化炭素を排出しますが、地球温暖化対策に有効なエネルギーとされています。このように、大気中の二酸化炭素の増減に影響を与えないという「カーボンニュートラル」の考え方を正しく説明しているものはどれですか。（2021年 鹿児島県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. バイオ燃料は燃焼時に二酸化炭素を排出するが、その二酸化炭素は非常に重いため、大気中にとどまらずに土壌へと吸収される仕組みになっている。 | 2. バイオ燃料は植物由来の成分で構成されているため、石炭や石油などの化石燃料とは異なり、燃焼させても二酸化炭素を一切排出しない。 | 3. 植物を原料とする燃料は燃焼時に二酸化炭素ではなく酸素を排出するため、利用すればするほど大気中の二酸化炭素濃度を下げることができる。 | 4. 原料となる植物が成長過程で光合成により二酸化炭素を吸収するため、燃焼時の排出分と相殺されて大気中の二酸化炭素を増やさない。 |
|--|---|--|--|

問9 東アジア（日本など）の温帯の雨温図と、地中海沿岸の地中海性気候の雨温図を比較したとき、夏季の降水量に大きな違いが出る理由として最も適切なものはどれか。（2018年 秋田県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 東アジアでは夏に海から吹き込む湿った季節風の影響を受けるが、地中海沿岸では夏に高気圧に覆われ乾燥するため。 | 2. 東アジアでは夏に寒流の影響で雨が降らなくなるが、地中海沿岸では暖流の影響で夏に降水量が増えるため。 | 3. 東アジアでは夏に偏西風が弱まって乾燥するが、地中海沿岸では夏に赤道低圧帯の影響で雨が多くなるため。 | 4. 東アジアでは夏に熱帯収束帯が北上して雨を降らせるが、地中海沿岸では常に大陸からの乾いた風が吹くため。 |
|--|--|--|---|

問10 茶の栽培が行われている地域の気候的な特徴を考慮したとき、茶の生産が困難な地域の説明として最も適切なものを次の中から選びなさい。（2020年 広島県公立入試 類似）

- | | | | |
|------------------------------------|-----------------------------------|--|----------------------------------|
| 1. 四季の変化がはっきりしており、温暖な気候に恵まれた温帯の地域。 | 2. 夏は高温で乾燥するが、冬に一定の降雨がある地中海沿岸の地域。 | 3. 極端に気温が低くなる冷帯（亜寒帯）や寒帯の地域、および水分が不足する乾燥帯の砂漠地帯。 | 4. 年間を通じて気温が高く、一定以上の降水量がある熱帯の地域。 |
|------------------------------------|-----------------------------------|--|----------------------------------|

問11 2016年のぶどうの生産量において、世界1位の中国に次いでイタリア、フランス、スペインといった国々が上位を占めています。これらの国々の多くに共通する気候条件と、農業の背景について述べた文として適切なものはどれですか。（2020年 茨城県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 灌漑施設の整備により、乾燥した砂漠地帯にあるオアシスの周辺で大規模な栽培が行われている。 | 2. 熱帯地域に位置しており、先進国の資本と技術を導入したプランテーションによって生産を伸ばした。 | 3. 雨の多い夏を利用して、広大な平野で機械化された大規模な稲作と並行して栽培されている。 | 4. 夏の乾燥が果実の糖度を高めるのに適しており、古くから地中海沿岸を中心に栽培が発展した。 |
|---|---|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 建物の内部からの熱が地中の永久凍土を溶かすのを防ぎ、地盤がゆるんで建物が傾かないようにするため。	シベリアなどの寒冷地では、地下に「永久凍土」と呼ばれる一年中凍ったままの層があります。家を地面に直接建てると、冬場の暖房などの熱が地面に伝わり、永久凍土に含まれる氷が溶けてしまいます。その結果、地盤が泥状になってゆるみ、建物が重みで沈んだり傾いたりするため、地面から離して熱を伝えない工夫がなされています。「湿気対策」や「害獣対策」は、東南アジアなどの熱帯地域における高床式住居の理由であるため、混同しないよう注意が必要です。
問2	答え 4 教義によって不浄なものとされている豚肉を食べることを避けている。	イスラム教の聖典であるコーラン（クルアーン）では、食べてよいものと禁じられているものが明確に定められています。豚肉は不浄なものとして摂取が禁じられており、イスラム教徒が多い地域のレストランや商店では豚肉を扱わないことが一般的です。一方、牛を神聖視して食べないのはヒンドゥー教の特徴であり、イスラム教の教えとは異なります。
問3	答え 4 温帯	北緯30度付近の中緯度地域に位置するこれらの地点は、緯度の関係から太陽放射の影響を適度に受け、極端な寒暑を避けた穏やかな気候になります。日本と同様に四季の移り変わりがはっきりしていることから、同じ気候帯に分類されます。
問4	答え 3 小麦は米に比べて乾燥や低温に対する適応力が高く、多様な気候帯での栽培が可能だから。	農産物の生産地域は、その作物の生理的特徴と気候条件に深く関係しています。小麦は米よりも少ない降水量で育ち、低温にも強いいため、アジアの湿潤地域だけでなく、北アメリカやユーラシア大陸の中央部、南アメリカの草原地帯（パンパ）など、多様な環境で大規模に栽培することができます。この気候適応力の高さが、特定の州に偏りすぎず、世界各地で一定の生産割合を持つ背景となっています。
問5	答え 2 北半球とは季節が逆転するため、1月前後に気温が最も高くなり、7月前後に最も低くなる。	地球は地軸を傾けた状態で太陽の周りを公転しているため、北半球が太陽の方へ傾く時期（7月ごろ）に北半球は夏となり、逆に南半球は太陽から遠ざかるため冬となります。このように南半球の温帯では北半球と季節が逆転する特性があるため、1月ごろに最も気温が高くなります。
問6	答え 1 1人当たりの国内総生産と取水量は密接に関連しており、北アメリカは両方の数値において世界で最大となっている。	世界の取水傾向を見ると、経済的に最も豊かな北アメリカが1人当たりの国内総生産と取水量の両方で最大を示しており、経済発展と資源消費の強い相関を裏付けています。反対に、アフリカはGDP・取水量ともに最小の部類に入ります。「アジアの生活用割合が最大」や「アフリカの取水量が最大」といった記述は、実際の統計データや経済実態とは異なる誤った認識です。
問7	答え 2 1年の中で7月ごろに気温が最も低くなり、1月や12月の気温が高くなるV字型の変化を示す。	地球の公転と地軸の傾きの影響により、南半球は北半球と季節が逆転します。そのため、北半球の温帯では7月ごろに気温が高くなる「山型」のグラフになりますが、南半球の温帯では7月ごろに冬を迎えて気温が下がり、中央が凹んだ「V字型」のグラフになるのが特徴です。
問8	答え 4 原料となる植物が成長過程で光合成により二酸化炭素を吸収するため、燃焼時の排出分と相殺されて大気中の二酸化炭素を増やさない。	植物は成長する際の光合成によって、大気中の二酸化炭素を吸収します。この植物を原料としたバイオ燃料を燃やすと二酸化炭素が発生しますが、それはもともと植物が成長時に大気から取り込んだものであるため、トータルで見れば大気中の二酸化炭素の総量を増やさないという理屈です。この排出量と吸収量がプラスマイナスゼロになる状態をカーボンニュートラルと呼び、地球温暖化を抑制するための重要な概念となっています。
問9	答え 1 東アジアでは夏に海から吹き込む湿った季節風の影響を受けるが、地中海沿岸では夏に高気圧に覆われ乾燥するため。	温帯の中でも、日本を含む東アジアは夏に海洋からの湿った季節風（モンスーン）が吹くため、雨温図では夏季に降水量の山ができます。これに対し、地中海性気候は夏に乾燥した高気圧（亜熱帯高圧帯）に覆われるため、雨温図では夏季に降水量が極端に減り、谷のような形になります。
問10	答え 3 極端に気温が低くなる冷帯（亜寒帯）や寒帯の地域、および水分が不足する乾燥帯の砂漠地帯。	茶は温暖で湿潤な気候を好む植物です。そのため、植物の生育が困難なほど気温が低い寒帯や、冬の寒さが非常に厳しい冷帯（亜寒帯）では栽培することができません。また、生育には十分な水分も必要なため、雨が極端に少ない砂漠地帯も栽培には適しません。実際の生産地は、温帯から熱帯にかけての広い範囲に分布しています。
問11	答え 4 夏の乾燥が果実の糖度を高めるのに適しており、古くから地中海沿岸を中心に栽培が発展した。	ぶどうの生産量上位にイタリアやフランス、スペインが並んでいるのは、これらの国が地中海性気候の恩恵を受けているためです。ぶどうは収穫期に乾燥していると糖度が高まり、品質の良いものが収穫できます。地中海沿岸諸国では、この「夏の乾燥」という気候的特徴を活かして、ワインの原料となるぶどうなどの栽培が伝統的に盛んに行われてきました。